

第 5 章 研 究 ・ 教 育 活 動

第1 研究活動

食品添加物一日摂取量調査

(マーケットバスケット方式による調査試料の調製)

「令和6年度食品添加物一日摂取量調査(厚生労働省委託調査)」報告書(抜粋)

馬場勇志、田中辰幸、堀田広一、船本洋二、小川尚孝
長崎市保健環境試験所

目的

本調査は、マーケットバスケット方式により調製された試料(以下「混合群試料」という。)の保存料・着色料・甘味料・製造用剤及び結着剤の含有量を求めることで、国民が日常の食事を介して摂取する保存料・着色料・甘味料・製造用剤及び結着剤の平均的な一日摂取量を把握し、食品添加物の安全性を確保することを目的とする。また、これらの食品添加物の使用表示のある食品(以下「表示群試料」と呼ぶ)についても分析を行う、分析結果から算出された一日摂取量をマーケットバスケット方式による結果と比較する。

長崎市では、本年度、試料調製のみを行うこととしたため、「混合群試料」及び「表示群試料」用の食品を購入し、「混合群試料」を調製し「表示群試料」と併せ、分析を担当する7か所の衛生研究所へ送付する。

方法

(1) 食品の購入

国立医薬品食品衛生研究所より送付された食品喫食リストに基づき、混合群試料における必要量及び表示群試料の有無を考慮の上、各食品毎に購入量を決定し、店舗で購入を行った。

(2) 試料の調製

マーケットバスケット方式により、全国6機関(国立医薬品食品衛生研究所、札幌市衛生研究所、仙台市衛生研究所、香川県環境保健研究センター、沖縄県衛生環境研究所、長崎市保健環境試験所)が、食品群別喫食量リストに基づいて194種類287食品を購入し、次に示した7群に分け、それぞれの群ごとに指定された採取量の食品を混和し試料とした。

群番号	食品群	食品の種類数
第1群	調味嗜好飲料	47
第2群	穀類	24
第3群	いも類、豆類、種実類	いも類 7、豆類 13、種実類 4
第4群	魚介類、肉類、卵類	魚介類 15、肉類 5、卵類 1
第5群	油脂類、乳類	油脂類 8、乳類 13
第6群	砂糖類、菓子類	砂糖類 6、菓子類 24
第7群	果実類、野菜類、海藻類	果実類 5、野菜類 20、海藻類 2

第2～7群については試料調製時に採取量と等量の水を加えて混和した。

(3) 試料の発送

(2) で調製した混合群試料について、国立医薬品食品衛生研究所より提供された容器に充填して冷凍し、宅配便にて、各衛生研究所へ送付した。

表示群試料については、含まれている添加物の分析を担当する衛生研究所へ、試料の状態に応じて冷凍又は常温で送付した。

(4) 業務の完了

送付した試料が各衛生研究所に問題なく到着したことを電子メールおよび電話にて確認し、業務の完了の確認とした。

第2 教育活動

1 学生実習・有資格者等研修

(令和6年度)

学校・学部名	実習人数	実習時期	実習日数	職種
長崎大学病院歯科研修医	25 人	7 月・ 9～12 月	25 日	歯科医師
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 保健学専攻 公衆衛生看護学分野	2 人	① 6～7 月 ② 9～11 月	31 日	保健師
長崎大学医学部保健学科看護学専攻	55 人	4 月～6 月	4 日	看護師
長崎大学大学院 熱帯医学・グローバルヘルス研究科	3 人	4 月	2 日	医師、看護師
ジョージタウン大学 ※長崎大学保健学科特別聴講生	3 人	9 月～11 月	7 日	—
長崎市医師会看護専門学校第1看護学科	70 人	7 月～8 月	4 日	看護師
長崎市医師会看護専門学校第2看護学科	33 人	7 月	2 日	看護師
長崎玉成高等学校衛生看護専攻科	45 人	7 月	2 日	看護師
長崎県立大学看護栄養学部栄養健康学科	9 人	8 月・9 月	15 日	管理栄養士
活水女子大学健康生活学部食生活健康学科	3 人	8 月	5 日	管理栄養士
長崎歯科衛生士専門学校	40 人	8 月・9 月	7 日	歯科衛生士
合 計	288 人		104 日	

